

2020年度の研究室配属(物質創成科学領域)について

これまで物質創成科学領域では、入学後に実施する研究室希望調査によって配属研究室を決めてきました。これは、奈良先端科学技術大学院大学のアドミッション・ポリシーに基づき、大学での専攻にとらわれることなく、入学後、様々な分野の研究室を知った上で、じっくりと研究室を選んでもらうための措置です。今後もこの方針に変更はございませんが、その一方で、入試時やオリエンテーションでのアンケートによると、約半数の受験生は、入試時に配属研究室が決まることを希望しています。そこで平成31年度から、入試合格発表の時点で希望研究室への配属を入学前に保証する制度を導入しています。

入試時配属制度

- 第1回入学者選抜試験合格者を対象
- 入試時配属者数は研究室定員の50%を上限とし、入試成績を考慮して決定する
- 入試面接時に受験生全員に対して希望研究室配属意思確認を行う
- 希望研究室は、原則、入学願書に記載した研究室とするが、面接時に変更することを認める
- 希望者に対して合格オリエンテーション実施日に希望研究室で事前面談を行う
- 入学後、希望研究室を変更することを認める

本制度を利用することを希望する受験生は、事前に希望研究室についてよく調べておいてください。原則、希望研究室は出願願書に記載した研究室としますが、本年度に限り、面接時に希望研究室を変更することを認めます。

研究室定員の半数以上は入学後に残ります。従来通り、入学後にじっくりと研究室を決めたいという学生に不都合が生じないように十分考慮します。

入学後配属制度(本年度実績)

- 入学後に実施される配属調査で第1から第5希望の研究室を選択し提出
- 希望順位に基づき配属を決定
- 希望者数が研究室の定員を超えた場合、入試成績と入学後に実施するTOEIC点数を勘案した成績上位者を優先
- 本年度実績では第3希望までの研究室に95%以上の学生が配属
- 入学後4月中旬までに研究室紹介・研究室訪問を実施。下旬頃に配属本調査を行い、5月上旬までに配属結果を発表。(配属本調査までに数回の予備調査を行い公表します。)